

えほんの木

No.3 2011, 2, 10

冷たい北風が吹き、一年で最も寒さの厳しい季節になりました。今年の冬は、乾燥もひどく、ママ達にとってはちょっぴり嫌な時期かもしれませんね～。

さて、今回のえほんのきは、【食べ物の絵本】を紹介します。見ているだけで、『ぐ～。』とお腹がなりそう。是非、一度子ども達に読んであげてみてください。



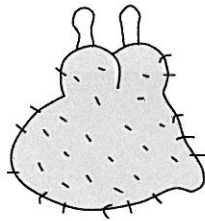
11ぴきのねことあほうどり 馬場のぼる こぐま社

1 11ぴきのねこのコロッケやコロッケが、とにかくおいしそうなのよ。



たまらん

2 コロッケにあきたねこたちが妄想する「とりのまるやき」がまたおいしそうなの。

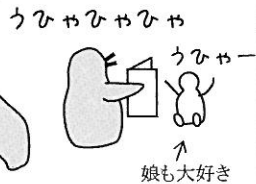


3 11ぴきのねこは、下心まんまんで、11わのあほうどりがいる島へ向かうんだけど



11わあっ

4 11わ目が出てくるところで、毎回笑ってしまう。



娘も大好き

妹に「いいわね。いつまでも小学生男子の心を忘れない人は」って言われました。

女子なのに

ひろくまちゃんのほっとけーき

作 わかやまけん

出版社 こぐま社

『ぼとん。』『ぶつぶつ。』『ふくふく。』こぐまちゃんがお母さんと一緒にホットケーキを作っている音です。何と言ってもこの絵本の見どころは、見開き2ページにわたって、フライパンの上でホットケーキが焼きあがっていくところ！食いしん坊の息子はこの場面をジ～っと見えています。今にもよだれが出てきそう。この絵本を見ると必ず、ホットケーキが食べたくなりますよね～。なんと！私が生まれる前に発行された絵本！！昔から愛されているようです。

紹介者 ゆうとママ

『じゃむじゃむ どんくまさん』

柿本幸造／絵 蔵富千鶴子／文 至光社 刊

たべものの出てくる絵本・・・といって、思い出されるたくさんの作品中、絵本のページがぱあっと目の前に浮かんできたのは、この本でした！

とにかく、りんごジャムをつくっている場面が秀逸☆りんご色に染まったページは、いつ見てもあつたかくて、あまずっぱい香りが漂ってきそう。ちょっとドジなクマ“どんくまさん”の温かさと一緒に伝わってくる絵本です。物語を味わうには3歳くらいからの作品ですが、動物がでてくると、絵のきれいで、1歳の娘もお気に入りです♪

《おまけ》絵本に出てくる美味しいものを紹介したレシピ本も色々ありますね。「絵本からうまれたおいしいレシピ」シリーズ(宝島社)、「絵本の中のおいしいスープ」(東条真千子・著 INFOREST MOOK)などなど。子どもと一緒に作るのも楽しいですよ^^

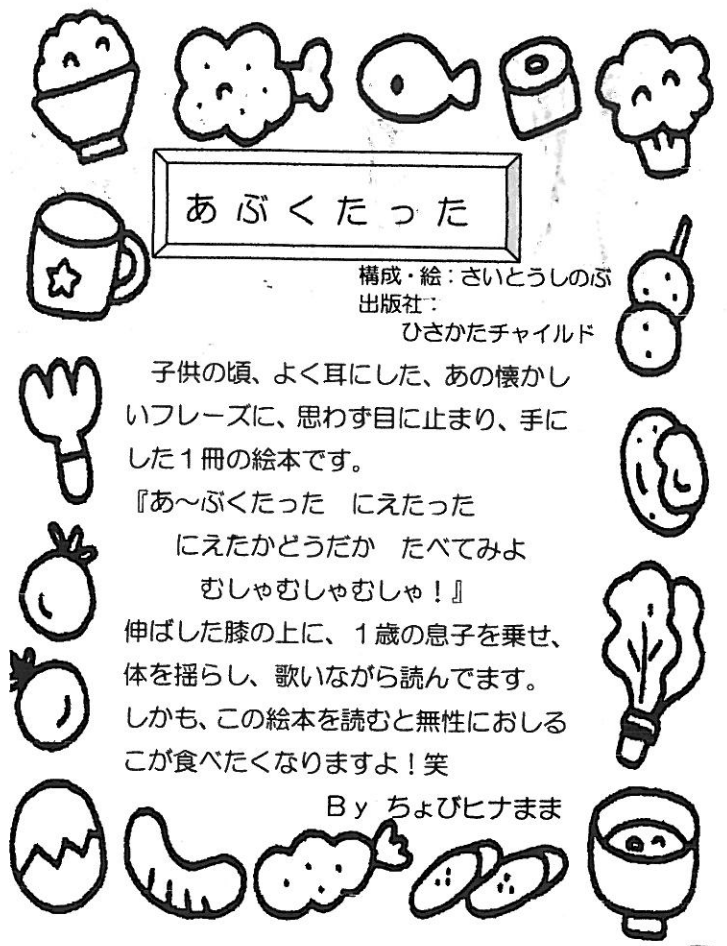
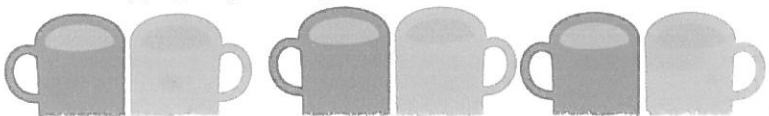
小学校1年生の息子&1歳の娘の母です。

たべたいな みやまつともみ 作

(こどものとも012 2009年7月号)

「たべたいな」から始まる おやつの数々……。ポーロやバナナ、ヨーグルトなど、みんなの大好きなおやつが次々と出てきます。ちぎり絵のとてもやさしい雰囲気、午後のゆったりとした時間が流れていく気がします。離乳食が始まって、「食べる」ということが好きな子・嫌いな子 様々で、苦労されているママも多いと思います。そんな時は、絵本から「食」に興味を持たせてみては、いかがでしょう？

泉図書館をはじめ、仙台市内のいろいろな図書館で借ることができますよ。



あぶくたった

構成・絵：さいとうしのぶ
出版社：
ひさかたチャイルド

子供の頃、よく耳にした、あの懐かしいフレーズに、思わず目に止まり、手にした1冊の絵本です。

『あ〜ぶくたった にえたった
にえたかどうか たべてみよ
むしゃむしゃむしゃ！』

伸ばした膝の上に、1歳の息子を乗せ、体を揺らし、歌いながら読んでます。しかも、この絵本を読むと無性にこの食べたいくなりますよ！笑

By ちょびヒナママ

おにぎり



平山英三文 / 平山和子絵 福音館書店

炊き立てのご飯のいいにおい。手のひらを真っ赤にして湯気のたつご飯を握ってくれるお母さん。あついでんたろうな。できたてのおにぎりのあたたかさ。のりのいいかおり。

おにぎりができるまでの、待ち遠しい記憶を思い起こさせてくれる絵本です。こどもたちと一緒によんでいると、自分がお母さんになって、こども達におにぎりをつくれる幸せもあらためて感じます。美味しそうなおにぎりに、こどもたちもくぎづけの一冊です。

紹介者 小学3年の女の子と1年の男の子、
2歳の女の子の母。